

## 令和5年度「第2次亶理町地球温暖化対策実行計画」取組結果

本町は事務事業活動に伴い排出される温室効果ガスの発生を抑制するため、「第2次亶理町地球温暖化対策実行計画（令和4年3月策定）」に基づき、地球温暖化対策に取り組んでいます。実行計画の対象は本町が行うすべての事務・事業とし、出先機関等を含めた全ての組織及び施設とします。

令和5年度における取組の結果は以下のとおりです。

### 1. 計画の目標及び実績

令和12（2030）年度までに二酸化炭素排出量を、基準値の46%まで削減することを目標とします。基準値は平成25（2013）年度の二酸化炭素排出量とします。

単位：kg-CO2

対象	対象	基準値	削減目標	目標削減量	目標値
		(A)	(B)	(A) × (B)	(A) - (目標削減量)
	二酸化炭素	2,446,198	46%	1,125,251	1,320,947

実績	令和5年度	排出量	削減量	削減率	目標達成率
		(C)	(A) - (C)	(削減量) / (A)	(削減率) / (B)
		2,178,529	267,669	10.94%	23.79%

### 2. 前年度との燃料別二酸化炭素排出量比較

排出要因	二酸化炭素排出量 (kg-CO2)			
	令和4年度	令和5年度	増減	増減率
電気	1,801,279	1,706,122	▲ 95,157	▲ 5.28 %
灯油	160,913	108,267	▲ 52,646	▲ 32.72 %
A重油	1,571	0	▲ 1,571	- %
ガソリン	52,940	113,655	60,715	114.69 %
軽油	13,065	33,912	20,847	159.56 %
LPガス	220,875	216,573	▲ 4,302	▲ 1.95 %
合計	2,250,643	2,178,529	▲ 72,114	▲ 3.20 %

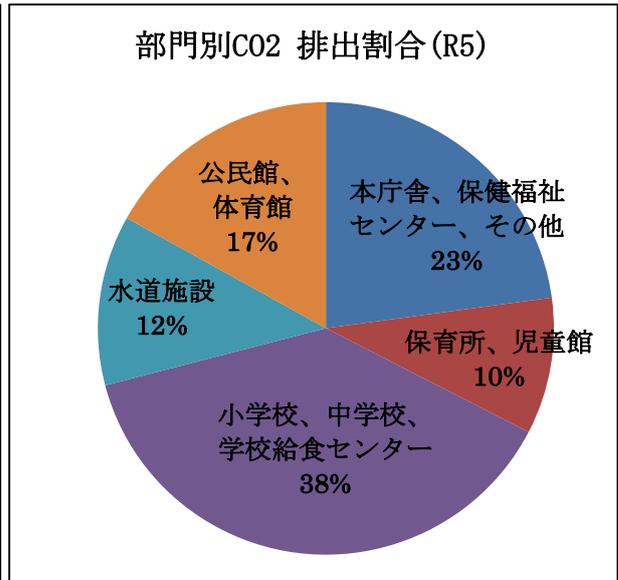
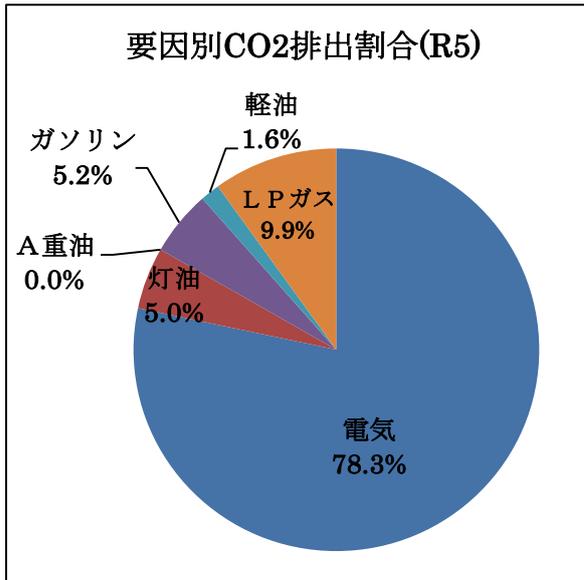
全体では前年度比で二酸化炭素排出量は減少したものの、削減目標の46%に至らず、削減率10.94%、目標達成率23.79%となりました。

前年度比で二酸化炭素排出量が減少した要因として、本庁舎・保健福祉センターの電気、小中学校での電気、灯油の使用量が減少しており、省エネ意識が浸透しているのではないかと考えられます。

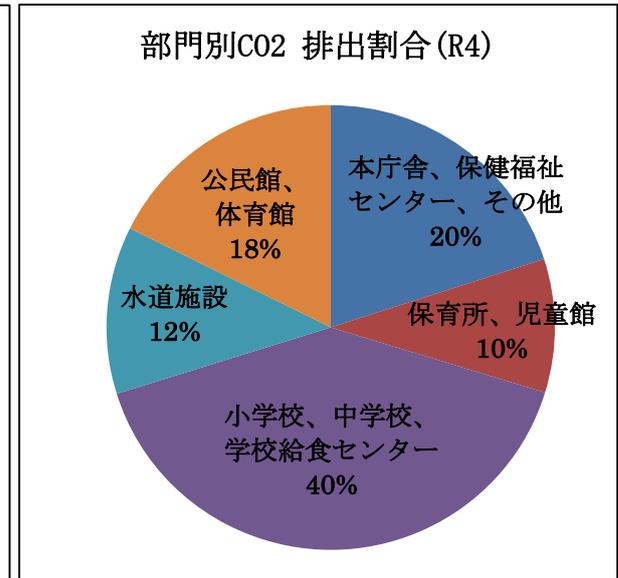
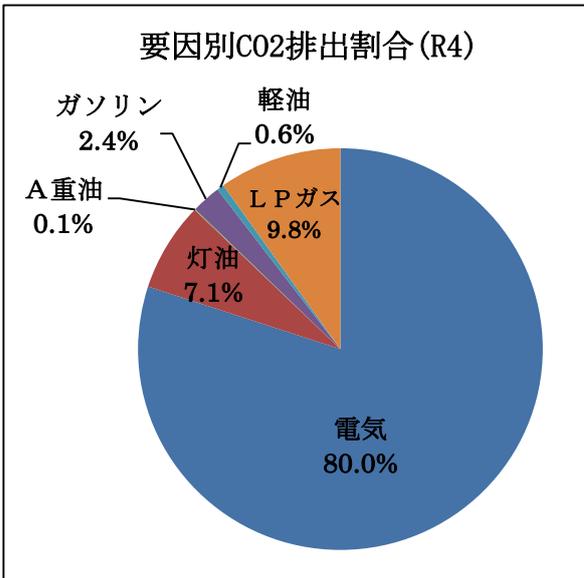
排出要因別では、電気（78.3%）、LPガス（9.9%）、ガソリン（5.2%）の3項目で全体の約93%となっており、各施設の職員一人ひとりが節電・省エネルギーなど環境に配慮した取組みを意識することがさらに必要と考えられます。

## 【要因別・部門別CO2排出割合】

令和5年度



令和4年度



## 【総排出量の推移】

